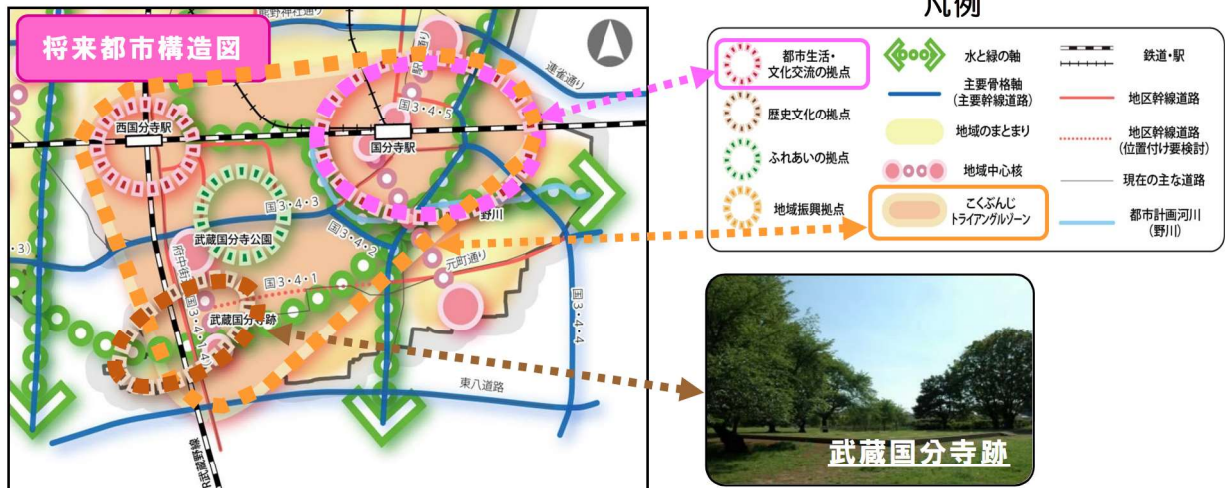


●駅前広場の再整備コンセプト案

歴史・文化交流の拠点をつくる国分寺の玄関口

【基本的な考え方】

国分寺駅南口（周辺）は、国分寺市都市計画マスタープランにおける市の将来都市構造図より、**こくぶんじトライアングルゾーン**※の一角を成しており、市内で最大の「**都市生活・文化交流の拠点**」として位置づけられています。



また、国分寺駅南口は、歴史文化の拠点として史跡整備が進む「**武蔵国分寺跡一帯**」へ繋がる玄関口の一つでもあります。

以上を踏まえ、ゾーン内の更なる魅力向上と連携強化を図るため、駅前広場の再整備コンセプト案を作成しました。

※こくぶんじトライアングルゾーン：市の拠点・都市軸・まちづくり資源が集積したゾーンとして、市内外への魅力発信する役割を担う。

●再整備の方向性

【整備前】

課題①
違法駐車などによる交通渋滞と狭い歩道

課題③
歩行者空間が狭く、車道中心の空間構成

課題②
ロータリーの出入り口やJRの荷捌き場が混在している不明瞭な車両動線

課題④
バス停から駅に向かう中での歩行者の乱横断

【整備後】

方向性①
一方通行化し、歩道を拡げることで安全性の確保

方向性③
歩道の拡幅・広場の拡充をすることで、にぎわいを創出

方向性④
ぶんバスのバス停を移設し、横断歩道を最短動線になるよう移設することで、安全な歩行者動線を確保

方向性②
都道からのロータリー進入路を一本化し、車道と分離するための交通島を設け、車両動線を明瞭化

【凡例】

- 車道空間
- 歩行者空間
- 車両動線
- バス停（路線バス）
- バス停（ぶんバス）
- タクシー
- 荷捌き車両
- 交通島